

大刀洗町図書館システム環境整備業務委託
仕様書

令和6年5月

大刀洗町 教育委員会

1 目的

本業務は、大刀洗町立図書館の町立図書館システム及び、町内小中学校（大刀洗小学校、菊池小学校、本郷小学校、大堰小学校、大刀洗中学校 計5校）の学校図書室システム（以下「システム」という。）の更新により、大刀洗町立図書館及び、学校図書館を連携して相互貸借等、図書業務の効率化を目的とする。

2 業務概要

- (1) 業務名称 大刀洗町図書館システム環境整備業務委託
- (2) 履行期間 契約締結日の翌日から令和6年9月30日まで
- (3) 対象施設

(i) 町立図書館

図書館名	住所	蔵書点数	開館時間／休館日
大刀洗町立図書館	〒830-1201 福岡県三井郡大刀洗町富多 819	約 80,000 点	火・水・金・土・日 10:00～18:00 木 10:00～19:00 ／ 毎週月曜日（祝日と重なった場合は次の平日）蔵書点検期間年末年始（12月29日～1月3日）

※令和4年 現在

(ii) 学校施設

図書室名	住所	蔵書点数	開館時間／休館日
大刀洗小学校	〒830-1222 福岡県三井郡大刀洗町上高橋 755 番地 1	約 8,900 点	8:20～16:50／ 学校の休日
菊池小学校	〒830-1226 福岡県三井郡大刀洗町山隈 1344 番地 3	約 11,700 点	8:30～15:30／ 学校の休日
本郷小学校	〒830-1211 福岡県三井郡大刀洗町本郷 4669 番地 1	約 12,400 点	8:20～15:50／ 学校の休日
大堰小学校	〒830-1205 福岡県三井郡大刀洗町守部 465 番地	約 8,500 点	8:20～15:00／ 学校の休日
大刀洗中学校	〒830-1211 福岡県三井郡大刀洗町本郷 515 番地	約 15,300 点	8:10～16:40／ 学校の休日

(4) 利用状況等

項目	
利用業務	(i) 窓口業務 貸出、返却、予約等 (ii) 利用者管理業務 利用者登録、修正、検索、除籍等 (iii) 資料管理業務 資料検索、督促等 (iv) 目録業務 登録、修正、原簿作成、除籍等 (v) 収書業務 選書、発注、受入等 (vi) 館内 OPAC 蔵書検索、予約等 (vii) インターネット検索 蔵書検索、予約等 (viii) 統計帳票業務 利用統計、貸出統計、年度報告等 (ix) 蔵書点検業務 不明本リスト出力、棚違い検出等 (x) 学校図書館連携業務 書籍データ共有、回送貸借、学年生徒管理等 (Xi) 読書履歴利用者サービス 読書履歴記録帳(現行通り School Kids とする)
利用登録者数	約 12,000 人
年間貸出資料数	約 80,000 冊
年間利用者数	約 14,000 人
年間予約件数	約 2,000 件
年間貸出冊数	約 75,000 冊
現行システム (自庁導入型)	大刀洗町立図書館：日本電気(株)製 LiCS-Re2 学校 5 校図書室：OEC(株)製 探調 DX2
現行 MARC 会社	(株)図書館流通センター

3 調達機器

(1) 基本要件

各機器の仕様・性能要件は、「別紙1：調達機器仕様書」の要件を満たすこと。

(2) 構成及び台数

(i) 大刀洗町立図書館

No.	機器種別	台数	備考
1	カウンター業務端末	2	デスクトップ型
2	事務所用業務端末	1	ノート型
3	蔵書検索用(OPAC)端末	1	デスクトップ型(タッチパネル)
4	読書記録通帳端末	1	デスクトップ型(タッチパネル)
5	読書記録通帳ソフトウェア・プリンタ	1	現行機 School Kids とする
6	職員用バーコードリーダー	3	書籍・利用者カード読取用
7	ハンディターミナル	2	※バッテリーパックタイプとし、充電用クレードルを付属すること
8	ファイルサーバ	1	論理容量 2TB 以上 ※RAID5 以上
9	ファイヤーウォール	必要数	クラウドシステムへは大刀洗町ネットワークより接続する為、接続形態によって必要有無を判断し、必要な場合は見積ること
10	レシートプリンタ	2	
11	A3 モノクロレーザプリンタ	1	用紙カセット合計 2 段
12	スイッチングハブ	必要数	

(ii) 小中学校図書室(台数は合計)

No.	機器種別	台数	備考
1	貸出業務端末	5	デスクトップ型、ノート型
2	蔵書検索用(OPAC)端末	5	デスクトップ型(タッチパネル)
3	貸出用バーコードリーダー	5	書籍・利用者カード読取用
4	ハンディターミナル	1	5校で共用
5	レシートプリンタ	5	
6	A4 カラーレーザプリンタ	5	用紙カセット 1 段
7	スイッチングハブ	必要数	

その他、クラウドネットワークに必要な機器・ソフトウェアは全て見込んでおくこと。町ではシステム稼働につき、機器の追加が発生したとしても一切支払わないものとする。

ウイルス対策ソフトウェアについては大刀洗町で用意するものを利用すること

※ウイルス対策ソフトウェア：Trendmicro APEX ONE

4 システム機能

(1) 基本要件

- (i) 図書館システムは大刀洗町立図書館および小中学校図書室（5館）を含むネットワークシステムで、「利用者サービス業務」「管理業務」など図書館の業務全体を処理できる総合管理システムであること。
- (ii) 町立図書館システムと学校図書館システムとが情報連携をできる機能を有すること。
- (iii) 日常的な保守・管理に専任の職員を必要としないシステムであるとともに、停電・機器トラブル時における復旧機能を整え、バックアップ対策およびデータの損失・破壊の予防策があること。
- (iv) 新システムについては、クラウド型で構築すること。また、クライアントのOSはWindows11とする。
- (v) 蔵書データ、MARCデータ、利用者情報、貸出情報、図書館データ等、現在の図書館システムで使用しているデータを不足なく引き継ぎ運用できること。また、町から指示があった場合は所蔵のMARCクリーニングを行うこと。所蔵のISBN、タイトル情報などのデータ抽出も含め契約期間の保守サービスとして実施すること。
- (vi) 書誌情報入力、貸出・返却処理、資料情報検索などの処理能力に見合う十分な機能を確保すること。
- (vii) 別紙4 機能回答書（町立図書館・学校図書館）の各機能を満たすこと。
各仕様が満たせない場合は、満たすためにかかる費用をカスタマイズ必要として見積もこと。

(2) セキュリティ要件

(i) 資格要件

サービス提供事業者側で以下の認証を有していること。

(ア) ISO 9001（品質マネジメントシステム）

(イ) 情報セキュリティマネジメントシステム ISO/IEC27001 の認証、プライバシーマークの付与認定を有すること。

(ii) セキュリティ対策

本システムは、個人情報を取り扱うことになり、高いレベルのセキュリティ対策が必要であることに留意しシステムを環境整備すること。また、以下のセキュリティ対策を講じること。

(ア) 図書館システムクラウドサービス運用は、「別紙2：図書館システムクラウドサービス運用」の要件を全て満たすこと。

(イ) 図書館システムデータセンター設備は、「別紙3：図書館システムデータセンター設備要件」の要件を全て満たすこと。

5 運用・保守

(1) ハードウェア保守

保守管理に必要な装置は、契約により提供される装置の全てとする。全ての機器について稼働後60か月の保守費用を金額に含めること。なお、ハードウェア保守には次の業務を含めることとする。

- (i) 障害時の連絡対応及び問診を行うこと。

- (ii) 障害原因の切り分け作業を行うこと。
- (iii) 不良部位修理を行うと共に、必要に応じてソフトウェア(本件調達分)の回復を実施すること。
- (iv) 機器障害発生時には、技術者が訪問して、必要に応じた部品交換を実施すること。
- (v) クラウドサーバには、稼働状況を常時監視する仕組みを取り入れ、障害発生をいち早く察知して保守対応できる仕組みを用意すると共にメモリ障害・ディスク障害等の予兆監視を実施すること。
- (vi) 図書システムのパッチ提供、リビジョンアップの権利提供などのマイナーバージョンアップは、随時行うものとし、技術提供サービス等、契約期間の保守サービスとして実施すること。
- (vii) 導入したソフトウェアの脆弱性が発覚した場合は、即時対応すること。
- (viii) ハードウェア、ソフトウェア等の保守連絡の一括受付窓口を用意すること。障害発生時には、職員にてハードウェア・システム・ソフトウェア等の各窓口それぞれに連絡を行うことは想定していない。導入物品は全てにおいて提案業者一括対応とし、滞りなく各窓口へ連絡・作業指示を行える体制を取ること。
- (ix) 保守拠点は、県内及び近隣地域に置き、必要に応じてオンサイトにて対応できること。ただし、製品によってオンサイト保守対応が難しい場合は、別途提案の上で調整することとする。
- (x) 訪問修理の作業実施に際しては、職員と十分な協議の上で対応すること。
- (xi) 業務の新たな運用が必要な場合は、保守の範囲外として都度協議の上で対応するものとする。

(2) システム運用支援

受注者はシステムの安定的運用に努め、障害のある場合は迅速に復旧措置を講じ、図書館運営に支障のないよう取り計らうこと。なお、システム運用支援として次の業務を含めるものとする。

- (i) 県内にSE拠点を置き、システム開発元にて直接運用支援を行うこと。運用、変更に際しての図書館からの相談、質問に全面的に支援できる体制であること。
- (ii) 図書システム運用に必要なマニュアルを整えること。
- (iii) 土日祝日・夜間なども含め、連絡ルートを確立すること。またトラブル時の対応については、図書館と協議し早期復旧に努めること。
- (iv) 蔵書点検時は最低1日の訪問サポート、年度統計出力等のイベント時には都度の間合せ対応等の運用支援を行うこと。
- (v) 電話／メールによる相談、運用条件変更に伴う区分コード追加作業等に迅速な対応をすること。
- (vi) その他、システム運用サポートに当たって有効と考える提案があれば盛り込むこと。
- (vii) 自社によるコールセンターを設け、日々運用の相談等を受け付けること。

6 その他

- (1) 本図書館システム仕様書に記載した内容は、全て見積り金額に含めること。本契約に係わる旧システムからのデータ移行、新規ソフトウェアの調整・設定、機材の設置・設定、梱包材の引き取り、稼働テスト、職員研修等に関する費用は受注者の負担とする。ただし、旧システムのデータ抽出作業費用は、見積り額に含まないものとする。

- (2) 新システムの提案にあたっては、新システム稼働後の数値の増加を見込んだ上で能力に十分なゆとりを持ち、稼働から5年間動作に支障のないシステムとすること。
- (3) 受注者は、本契約終了日までに本契約を継続して遂行できる必要な措置を講じなければならない。他システムへの移行及び引き継ぎに関しては、発注者に対して誠意をもって支援協力すること。
- (4) 契約期間満了後、データセンターに設置した図書館システム環境を廃棄処理すること。また、廃棄処理後、廃棄証明書を町へ提出すること。
- (5) 本仕様書の記載内容に疑義や問題が生じた場合、記載のない事項については、別途協議すること。

別紙 1 : 調達機器仕様書

調達機器は下記の仕様同等又は、その以上のものとする。

1. カウンター業務端末、貸出業務端末（本体、ディスプレイは国内メーカーであること）

筐体	省スペースデスクトップ型
CPU	Intel Core i3 12 世代以上
メインメモリ	16GB 以上
内部ストレージ	SSD 240GB 以上
液晶ディスプレイ	21.5 インチワイド以上
光学ドライブ	内蔵 DVD ドライブ
インターフェース	LAN インターフェースを1ポート以上有すること USB ポート(USB3.0 及び USB2.0)を合計 4 ポート以上有すること
入力装置	USB テンキー付日本語 109 キーボード USB レーザーマウス
LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠
OS	Windows 11Pro 64bit
アプリケーション	Microsoft Office Personal 2021
保証	翌営業日出張修理 5 年間 9:00~18:00 同等以上
その他	DVD リカバリメディア

2. 事務室用業務端末（本体、ディスプレイは国内メーカーであること）

筐体	省スペースデスクトップ型
CPU	Intel Core i3 12 世代以上
メインメモリ	16GB 以上
内部ストレージ	SSD 240GB 以上
液晶ディスプレイ	21.5 インチワイド以上
光学ドライブ	内蔵 DVD ドライブ
インターフェース	LAN インターフェースを1ポート以上有すること USB ポート(USB3.0 及び USB2.0)を合計 4 ポート以上有すること
入力装置	USB テンキー付日本語 109 キーボード USB 光学又は、レーザーマウス
LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠
OS	Windows 11Pro 64bit
アプリケーション	Microsoft Office Home & Business 2021

保証	翌営業日出張修理 5年間 9:00～18:00 同等以上
その他	DVD リカバリメディア

3. 蔵書検索用(OPAC)端末 (本体、ディスプレイは国内メーカーであること)

筐体	省スペースデスクトップ型
CPU	Intel Core i3 12 世代以上
メインメモリ	16GB 以上
内部ストレージ	SSD 240GB 以上
光学ドライブ	内蔵 DVD ドライブ
インターフェース	LAN インターフェースを1ポート以上有すること USB ポート(USB3.0 及び USB2.0)を合計 4 ポート以上有すること
入力装置	USB テンキー付日本語 109 キーボード USB レーザーマウス
LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠
OS	Windows 11Pro 64bit
保証	翌営業日出張修理 5年間 9:00～18:00 同等以上
その他	DVD リカバリメディア

4. 読書記録通帳端末 (本体、ディスプレイは国内メーカーであること)

筐体	省スペースデスクトップ型
CPU	Intel Core i3 12 世代以上
メインメモリ	16GB 以上
内部ストレージ	SSD 240GB 以上
光学ドライブ	内蔵 DVD ドライブ
インターフェース	LAN インターフェースを1ポート以上有すること USB ポート(USB3.0 及び USB2.0)を合計 4 ポート以上有すること
入力装置	USB テンキー付日本語 109 キーボード USB レーザーマウス
LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠
OS	Windows 11Pro 64bit
保証	翌営業日出張修理 5年間 9:00～18:00 同等以上
その他	DVD リカバリメディア
アプリケーション	ライトキッズ社製 School Kids ※現行システムを移行すること。利用者に発行している読書記録通帳がそのまま利用できること。

5. 蔵書検索用(OPAC)端末・読書記録通帳端末 タッチパネル液晶ディスプレイ

方式	投影型静電容量方式
タッチ点数	最大 10 点
表面処理	アンチグレア
通信	USB (コントローラ内蔵)
画面サイズ	19.0 型
アスペクト比	5:4
液晶表示 (駆動) 方式	TFT アクティブマトリックス方式
最大解像度	1280×1024
表示エリア	376.32mm(H)×301.06mm(V)
画素ピッチ	0.294mm(H)×0.294mm(V)
表示色	1677 万色
輝度	225cd/m ² (タッチパネル装着時の標準値)
OSD	対応
映像入力	VGA、HDMI
アナログ同期信号	セパレート、コンポジット (H/V)、SOG
デジタル信号	HDMI 規格 ver.1.3 準拠 HDCP 対応
コントラスト比	1000 : 1 (標準値)
視野角	上下 178°左右 178° (コントラスト比 10 以上での標準値)
チルト角度	-5°~70°
電源	AC100~240V、50/60Hz
最大消費電力	50W 以内
タッチパネル通信接続	USB タイプ B (レセプタクル)
USB 接続	USB タイプ B×1 ポート (タッチパネル用)、USB 2.0 タイプ A×1 ポート (ハブ用)、Micro USB×4 ポート (オプション周辺機器用)
映像信号入力接続	アナログ : RGB ミニ D-Sub15 ピン (メス)、デジタル : HDMI タイプ A19 ピン (メス)
使用・保存温度範囲	使用時 : 0~40℃ 保存時及び輸送時 : -20~60℃
規格	VCCI クラス B、CCC、China RoHS、KC、BSMI、BIS、ANSI/AAMI ES60601-1、FCC Part 15、UL60950-1、CAN/CSA C22.2 No.60601-1、ICES-3、c-UL (CSA C22.2 No.60950-1)、EN 60601-1-2、EN 60950-1、CE、RoHS、WEEE、RCM、EAC、IEC60601-1、IEC60950-1、IP54 (準拠)
保証	出張修理 平日 9:00~17:00 同等以上

6. 職員用・貸出用バーコードリーダー ※以下の仕様は参考とし同等又は、同等以上の性能とする

外形寸法 (HxWxD)	160 x 70 x 90 mm 程度
光源	可視光半導体レーザー 650nm
スキャンタイプ	双方向
スキャンエレメント周波数	50Hz
スキャン速度	100 スキャン/ 秒 (通常)
読取範囲	0 ~ 43cm、100% UPC / EAN / JAN の場合
安全規格	UL1950、CSA C22.2 No.950、EN60950/IEC950
EMI/RFI	FCC Part 15 Class B、ICES-003 Class B、European Union EMC Directive、AustralianSMA、Taiwan EMC、Japan、VCCI クラス B
レーザー安全規格	CDRH Class II、IEC Class 2
外部インターフェース	USB : USB-A
環境	RoHS Directive 2002/95/EEC に準拠
保証	センドバック 5年間 同等以上

7. 利用者用バーコードリーダー ※以下の仕様は参考とし同等又は、同等以上の性能とする

外形寸法 (HxWxD)	158 x 73 x 60 mm 程度
光源	赤色 LED
スキャンタイプ	CCD リニアイメージャセンサ
最大読取り幅	65 mm 程度
傾斜読み取り	スキュー : $\beta 1 \leq 30^\circ$ / $\beta 2 \leq 70^\circ$, ピッチ : $\alpha \leq \pm 35^\circ$, チルト : $\gamma \leq \pm 25^\circ$
EMC	VCCI クラス B / FCC Class B / EN 55032 Class B、 EN 55024
レーザー安全規格	IEC 62471 リスク免除グループ
外部インターフェース	USB : USB-A プラグ RS-232C : D-sub 9pin メス
環境	RoHS 指令
保証	センドバック 5年間 同等以上

8. ハンデーターミナル

RAM 容量	16MB (内ユーザエリア 8MB)
Flash ROM 容量	16MB (内ユーザエリア 10MB)
表示方式	1.77 型 TFT カラーLCD 65,536 色
表示ドット数	横 128×縦 160 ドット

バックライト	高輝度白色 LED
スキャン光源	可視光半導体レーザー(655nm) 出力 1.0mW クラス 2 レーザ製品(JIS C6802)
スキャン回数	100 スキャン/ 秒
スキャン読取距離	56 ~ 536 mm (ナローバー幅 1.0mm の時) 36 ~ 216 mm (ナローバー幅 0.25mm の時)
対応バーコード	JAN/EAN/UPC(アドオンコード対応)、CODE128、GS1-128、 CODE39(フル ASCII 対応)、NW-7、CODE93、ITF、インダ ストリアル 2of5、COOP2of5、GS1 DataBar
規格	IrDA Ver.1.2 物理層準拠
通信速度	9600/19200/38400/57600/115200 bps
充電電池	専用リチウムイオンバッテリーパック (3.7V、1100mAh)
副電池	内蔵リチウム二次電池 バックアップ時間 : 約 25 分
EMI	VCCI クラス B
その他	大容量電池パック、通信用ケーブル、充電用のケーブル・ク レードルを添付
保証	センドバック 5年間 同等以上

9. ファイルサーバ

筐体	ラック型
CPU	Annapurna LabsAlpine AL314 又は同等品
メインメモリ	4GB 以上
内部ストレージ	論理 2TB(RAID5) 以上
内部インターフェース	Serial ATA III 6.0Gbps 規格
インターフェース	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠
保証	平日出張修理 5年間 9:00~17:00
規格	VCCI Class A

10. ファイヤーウォール (参考) ※クラウドとのデータ通信が必要な場合

インターフェイス	8x1GbE、2x10GbE、2 USB 3.0、1 コンソール
VLAN インターフェイス数	256 以上
ファイアウォール スループット	5Gbps 以上
暗号化/認証	DES、3DES、AES (128、192、256 ビット)/MD5、SHA-1、 Suite B 暗号化
IP アドレス割り当て	スタティック、DHCP、PPPoE、L2TP and PPTP クライアント、イン ターナル 1 DHCP サーバ、DHCP リレー
NAT モード	1 対 1、1 対多、多対 1、多対多、フレキシブル NAT (重複 IP)、

	PAT、トランスペアレントモード
ルーティングプロトコル	BGP、OSPF、RIPv1/v2、スタティックルート、ポリシーベースのルーティング
消費電力	15W 以内
保証	平日出張修理 5年間 同等以上 ※緊急性を伴う場合、48時間以内に代替品と交換すること

11. レシートプリンタ（国内メーカーであること）

印刷方式	感熱方式(直接発色)
出力方式	連続印刷/カット印刷
インタフェース	USB1.1、2.0
印刷ヘッド密度	8ドット/mm(約 203dpi)
印刷速度	紙幅 83～58mm 時:最大 260mm/秒以内 紙幅 57～38mm 時:最大 160mm/秒以内
内蔵フォント	英数字、国際文字、拡張グラフィックス、漢字 JIS-1990、特殊文字
内蔵バーコード	JAN/EAN-8/13、UPC-A/ E、ITF(Interleaved 2 of 5)、Code39、Codaba(NW-7)、Code93、Code128、GS1-128(UCC/EAN-128)
給紙方式	ロール紙(外巻き)
消費電力	80W(1.4A)
保証	連続した週 5 日間(土日選択可) 8:30～17:30 同等以上

12. A3 モノクロレーザープリンタ（国内メーカーであること）

プリント方式	LED 乾式電子写真方式
解像度	1,200dpi×1,200dp 以上
階調/表現色	256 階調
プリント速度(両面对応)	片面 A4 ヨコ:33 頁/分、A3:18.2 頁/分以上 両面 A4 ヨコ:22.4 頁/分、A3:10.8 頁/分
プリンタ内蔵フォント	日本語 2 書体(平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5)、 欧文 21 書体、OCR-B フォント、バーコードフォント
用紙トレイ	250 枚以上
用紙坪量	60～163g/m ²
インタフェース	イーサネット 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T (TCP/IP) USB3.0
メモリ容量	2GB 以上
保証	連続した週 5 日間(土日選択可) 8:30～17:30 同等以上

消費電力	1kW 以内
動作音	60dB 以内
EMC	VCCI クラスB情報技術装置

13. A4 カラーレーザープリンタ (国内メーカーとする)

プリント方式	LED 乾式電子写真方式(LED)
解像度	600dpi×600dp 以上
階調/表現色	各色 256 階調(表現色 1,670 万色)
カラープリント速度 (両面对応)	片面 A4 ヨコ:31 頁/分、A3:41 頁/分以上
	両面 A4 ヨコ:19 頁/分、A3:23 頁/分以上
プリンタ内蔵フォント	日本語 2 書体(平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5)、 欧文 94 書体ト
用紙トレイ	200 枚以上
用紙坪量	60~176g/m ²
インタフェース	イーサネット 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T (TCP/IP) USB3.0
メモリ容量	512MB 以上
保証	平日出張修理 5 年間 8:30~17:30 同等以上
消費電力	1kW 以内
動作音	55dB 以内
EMC	VCCI クラスB情報技術装置

別紙2：図書館システムクラウドサービス運用要件

図書館システムクラウドサービス運用は下記の要件を全て満たすこと。

業 務	機 能	説 明
契約	契約期間	契約期間には、最短・最長とも期限を設けずに柔軟に対応すること。
可用性	職員機能の運用時間	全ての開館日、7:30～20:00 に使用できること。
	町民サービス提供時間	計画停止を除く 365 日 24 時間サービスを提供できること。
	計画停止予定通知	最短でも 7 日前までには必ず通知をすること。
	重大障害時の代替手段	重大障害時にも PC 単独で貸出業務を継続できること。
	計画停止（メンテナンス）	計画停止は、月 1 回（最大 6 時間まで）までとする。
	レベルアップ方針	年 1 回以上の定期レベルアップを実施することとし、最短でも 30 日前までに内容を連絡すること。
	パッチ適用	事前に図書館と協議し、適用タイミングを調整すること。
障害対応	データベース	RAID による二重化等の冗長化を施してあること。
	重大障害からの復旧時間	アプリケーションレベル(サービス再起動による障害復旧)：1 時間以内、それ以外(OS/ハード障害)は 48 時間以内であること。
	復旧範囲	前日閉館状態のバックアップまで復旧できること。
	障害通知プロセス	緊急時は、図書館担当者へ電話連絡すること。
性能	オンライン応答時間	応答時間は、平均 1 秒以内（貸出）であること。
	大量バッチ処理時間	一括登録は 3000 件/時間以上行えること。
	夜間自動バッチ処理時間（日次、月次）	即時処理でない場合、日次、月次とも 10 分以内に処理されること。
	年次バッチ処理時間	即時処理でない場合、年次処理はセンター内で計画実行すること。
拡張性	パラメータ設定	各機能は、パラメータ設定で業務運用に対する柔軟性と拡張性を持つこと。
	カスタマイズ性	MARC 変換プログラム、WebOPAC 定義体、館内 OPAC デザイン、各種の文言表現、画像など図書館固有の要件に関しては個別調整の余地を備えること。
	オプション製品追加	標準的なオプションシステムの追加においては、基幹システムに対する構築作業費用を要せずに導入できること。
	外部サービス連携	県立図書館の横断検索と連携を図れること。

	同時接続利用者数（業務）	契約端末ライセンス数まで同時接続可能なこと
センターサポート	受付時間帯	WebによるQA受付は24時間365日対応すること。
	対応時間帯	受付後は開館日の9:00～19:00に速やか対応をすること。
	対応体制	現地担当SEと連携してサポートを行うこと。
運用管理	運用者	クラウドサービス及びシステム基盤の運用は契約企業（もしくは100%資本の関係会社）自身で運用・保守を実施していること。
	稼動監視	アプリケーション変更、ポート監視、ハードトラブル監視を行うこと。
	検知時対応	異常値やトラブル、ハードウェア故障の予兆を確認した場合は、速やかに必要な措置を取れること。
	緊急時対応	重大障害への対処や緊急性の高いセキュリティ対応が必要な際にパッケージシステム運用担当者が即時対応で駆けつけること。
	資源監視	サーバの資源使用量を随時監視し、必要に応じて拡張計画を立案し、使用料の範囲で実施すること。
データ管理	バックアップ方法	日次で自動取得し、センター内にディスク形式で保存すること。アクセス権は運用管理者のみに制限すること。
	バックアップ保存期間	3世代以上保存すること。
	統計データ保持期間	5年間保持すること。
	データ管理の開始	移行データをセンターDBに格納した時点からサービス開始とすること。
	解約後のデータ消去	サービス解約1ヶ月の保持期間の後、完全消去すること。
情報保護	脆弱性チェック	脆弱性情報を常に収集し、改善事項に対して速やかに対策を講じること。
	セキュリティパッチ	OS・ミドルウェアのセキュリティパッチを適用し、安全性を保つこと。
	ウィルスチェック	保護ツールによるリアルタイム対策を行うこと。
	情報取得者の制限	利用者データにアクセスできる技術者は、セキュリティ管理者の許可を得た者に制限し、担当者は個人情報保護に関する教育を定期的に受講すること。
	情報取扱い環境	データ取扱い環境にはICカード・生体認証等による入室制限を行い、高セキュリティが確保された端末以外からアクセスできないようにすること。
	通信の暗号化レベル	TLS1.2以上もしくはVPNで通信すること。
	個人情報の暗号化	利用者の個人情報項目は、データベースに暗号化を施すこと。
	個人情報アクセスログ取得	利用者情報に対する操作ログを、管理者職員が確認できること。

別紙3：図書館システムデータセンター設備要件

図書館システムデータセンター設備は下記の要件を全て満たすこと。

業務	機能	説明
セキュリティ	警備員の配置	警備員が常時（365日、24時間）配置されていること。
	入退出管理	IDカード認証と生体認証等の二要素以上により、入退出管理が行われていること。
		業者のサーバ室への入退出については、氏名管理が行われていること。
		入退出マニュアルが明示されていること。
		入退出管理記録データについては、提出が可能なこと。
		非常時の物理的な鍵の管理が十分になされていること。
		不法侵入者を感知した場合、警備会社等に通報されること。
		監視カメラ等により24時間監視を行うこと。
		監視カメラによる監視範囲（サーバ室及び入退室経路）のカバーは100%であること。
		機器持出し防止等の対策が講じられていること。
施設運用	運営者	データセンターは、契約企業（もしくは100%資本の関係会社）自身が運営していること。
	総合監視	施設の電源、設備、機器全体の動作状況が常時監視可能な設備を有していること。
	設備点検	施設点検時に無停電での実施ができること。
建築	立地	国内に設置されていること。
		緊急時には、保守担当SEが早急に現地対応できること。
		自治体の洪水ハザードマップで浸水地域に該当しない場所にあること。
		津波被害の影響を受けない立地であること。また、海岸線からの距離や国、自治体の津波被害想定リスク上、安全な場所であること。
		活断層から一定距離離れていること。
	耐震基準	昭和56年の新建築基準に準拠し、震度7に耐えうる設計であること。
水害対策	サーバ室及び回線機器等のスペースについては、水害対策を講じていること。	
設備	サーバ室	本システム関連機器を設置するにあたり、十分な面積を有すること。
	サーバ室内ラック	機器及びラック等を設置した上で、空調効率を保持できる

		室内高を確保していること。
		室内の防塵対策が講じられていること。
		ラック自体に免震装置等の対策があること。
		ラックについては、施錠でき、許可されたもの以外は開閉できない仕組みを講じること。
	作業スペース	システムの保守・運用・管理を行うことが可能なスペースを有すること。
		作業に必要な照明及び非常灯を有すること。
		構内経路は事故や災害を考慮し、十分なスペースが確保されていること。
	データ保管室	データメディア類を適切に保管できる設備を有すること。
	電源設備	商用及び自家発電の最低2系統の電源を有していること。
		停電時には自動的に自家発電へと切替わることで無停止のまま運用継続できること。
		自家発電装置用の燃料は72時間以上分を備蓄し、無停止運用を継続できること。
		災害時対応として、自家発電装置用の燃料は複数の元売業者と優先供給特約を締結していること。
	空調設備	サーバ運用に適した空調設備を有すること。
	防火・防水設備	火災感知設備を有すること。
		窒素ガス消火設備を有すること。
避雷設備	避雷設備を有すること。	
静電気対策	静電気対策が講じられていること。	
その他	現地視察	本設備要件全般において、現地視察して確認が可能なこと。